

日本消防



- 第42回消防団幹部特別研修
- 都道府県における消防操法大会の結果

□ 絵 第42回消防団幹部特別研修 平成28年1月12日(火)から15日(金) (公財)日本消防協会
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中 (公財)日本消防協会

巻頭言 「東京の歴史は防災の歴史」…………… (一社)東京都消防協会 会長 沖山 仁 …… 1
 日消の動き 防災の原点は「地域」…………… (公財)日本消防協会 会長 秋本敏文 …… 3
 第42回消防団幹部特別研修を開催…………… (公財)日本消防協会 …… 4
 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」秋本敏文 日本消防協会会長 出演…………… (公財)日本消防協会 …… 6
 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介…………… (公財)日本消防協会 …… 8
 しまね消防団員応援キャンペーン ～来たれ消防団へ 島根県の取り組み～
 ……………… (公財)島根県消防協会 会長 松浦嘉昭 ……12
 「消防団応援の店」現地ルポ 「ほの国消防団・消防団応援事業所」を訪ねて
 ……………… 元東京消防庁丸の内消防署長 谷口由美子 ……14
 東西南北(岐阜県)「幸せ実感都市 みすなみ ～共に暮らし 共に育ち 共に創る～」
 ……………… 瑞浪市消防団 団長 大島忠和 ……18
 東西南北(岩手県)「安心・安全なまちづくり」…………… 花巻市消防団 団長 小原勇孝 ……20
 東西南北(徳島県)「住民から期待される消防団を目指して」…………… 美馬西部消防組合消防団 団長 東出 忠 ……22
 シンフォニー (京都府)「市民の安心・安全のまち創りを目指して」
 ……………… 木津川市消防団女性部 部長 平田克子 ……24
 都道府県における消防操法大会の結果…………… (公財)日本消防協会 都道府県消防協会 ……26
 消防団の現況…………… (公財)日本消防協会 ……38
 春季全国火災予防運動…………… 総務省消防庁予防課 ……40
 林野火災を防ごう！～全国山火事予防運動～…………… 総務省消防庁特殊災害室 ……41
 Let's try “HAPPY SBD”！豊田市消防団1日体験入団を開催…………… 愛知県豊田市消防団 ……42
 うちの名物団員…………… 記事記載各県 ……44
 消防団の広場(熊本県)「総務大臣表彰を受けて」…………… 熊本市消防団 団長 山口純一
 高森町消防団 団長 渡邊博実 ……46

編集後記

表紙写真説明

「半原操り人形浄瑠璃」

江戸時代に淡路の人形遣いにより伝授された「半原操り人形浄瑠璃」は、300年の歴史を持ち、岐阜県重要無形民俗文化財に指定され、地元の保存会が毎年上演しながら伝統を脈々と受け継いでいます。

半原文楽奉納：4月14日に近い日曜日

文楽の日：10月第4日曜日

(岐阜県瑞穂市)

第42回消防団幹部特別研修

平成28年1月12日(火)から15日(金)

(公財)日本消防協会



ラジオ番組
「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！

(公財)日本消防協会



平成 27 年
11 月放送分に出演の
西川きよしさん

平成 27 年
12 月放送分に出演の
徳光和夫さん



平成 28 年
1 月放送分に出演の
古賀稔彦さん



東京の歴史は防災の歴史

(一社)東京都消防協会 会長 沖山 仁



東京都は区部、多摩地域、伊豆諸島の内陸部及び小笠原諸島などの島しょ部からなり、内陸部は東西に細長く、西側の標高2,000mを超す山稜から東側の「ゼロメートル地帯」と言われる低地へと様々な地形から構成されています。

東京都内には、このような地形による地域特性の中で98の消防団（特別区58団、多摩地区30団、島しょ地区10団）が組織され26,421名（消防団員定員）の消防団員によって構成されています。

東京都といえば、徳川家康と江戸城を中心とした現在の皇居・東京駅周辺がイメージされると思いますが、奈良時代には聖武天皇の詔によって建てられた国分寺や府中市にある武蔵国府跡からわかる通り、現在の国分寺市や府中市あたりが「都の中心」でした。東京都の中心（重心）というものも国分寺市富士本3丁目の公園にあります。奈良時代の方々には今の東京が見えていたのでしょうか。

その後、皆様もご存じのとおり、徳川家康公が幕府を置き、大規模な灌漑と埋め立てによって生まれたのが江戸であり、現在の「東京」です。

江戸は、東京湾、隅田川などの水路を活用した水の都ですが、名前のとおり荒れる川の荒川があるなど、水害の被害も多かったことから、洪水防御、新田開発、舟運開発等を目的に、荒川から利根川を分離する

付け替え工事が江戸時代に行われました。後世「利根川の東遷、荒川の西遷」と呼ばれる河川改修です。時代は続き、明治43年の大洪水を契機に、「荒川放水路」の開削、通常の堤防に対し直角方向に築かれた「横堤」と呼ばれる堤防が26本建設されました。

また、「火事と喧嘩は江戸の華」といわれるほど、火災が多かったことも言い伝えられています。町民が住む地域は人口密度も高く、一度火災が発生すると大火災になってしまうので、火の用心は注意していたと思いますし、今も東京の住民に引き継がれている「心得」であります。

それでも1923年の関東大震災では火災により多くの犠牲者が発生しました。今でこそ判明しておりますが、大震災が起きたとき、台風が新潟県付近にあり、その影響で関東地方には強い南風が吹いていて、台風の移動とともに風向は変わり、延焼につながったと言われております。

東京はこのように災害が多い都市でもあり、長い歴史の中で防災に取り組んできたことも東京の歴史であり、災害から町を守ってきた消防団の歴史でもあります。

平成となった現在でも東京は政治や経済の中心として多くの人が集まる大都市であり、東京都地域防災計画の被害想定も大きな地震が発生すると、区部の木造住宅密集地域を中心に建物被害が多数発生します。ひとたび火災が発生すると被害は想像もつ

きません。

東日本大震災では幸いにも大きな被害がなく、今までの対策が功を奏しているのかとも感じましたが、帰宅困難者の問題が具現化したことから、大震災は「想定を超える」ということも今後肝に銘じていく次第です。

このような東京の地域特性や都市構造、都民のライフスタイルなどを考慮していくと、都民の一人一人が防災に対する備え、震災発生時の対処法などを知っておく必要があります。そのために東京都では平成27年9月に、災害に対する事前の備えや発災時の対処法など、今すぐ活用でき、いざというときにも役立つ情報を分かりやすくまとめた完全東京仕様の防災ブック「東京防災」を作成し、都内の各家庭に配布しました。

防災訓練を実施し、多くの人が実際に行動できるように啓発していくことが大切です。消防団の皆様も生業を持ちながらこうした防災訓練指導などを積極的に実施いただいているところです。

地元根差し、地域を知り、地域住民を知る消防団の果たす役割は大きく、地元の

消防署、区市町村などと連携して広域災害及び大震災時に立ち向かう際には、その中心として活躍することが期待されています。

東京都は2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、「世界一安心・安全な都市・東京」を目指し、消防団も自分たちができることを一つずつ行っていきます。

東京都消防協会としましては、都内の消防団員のために、団員の活動しやすい環境の確保などを、消防庁、日本消防協会、東京都、各区市町村、東京消防庁の皆様と共に積極的に取り組んでいきたいと思っております。



東京都の中心(重心)



東京仕様の防災ブック「東京防災」

防災の原点は「地域」

(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

平成26年8月、新法の成立を受けて「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」という初めての国民的な大会を開催しましたが、その時の大会申合わせから発展して、消防庁主催、地元協力による地域大会が、昨年11月に広島県で、今年1月に茨城県で開催されました。日消も協力してきたのですが、茨城大会では、私自身が『防災の原点は「地域』』というお話をしました。

私は、平成7年「阪神淡路大震災」の直後に消防庁長官に就任して、緊急消防援助隊の創設に関わりましたが、その頃いつも、これだけでなく、地元の体制づくりをしなければならぬと話していました。発災直後は、地元の人たちしかいません。地元の消防団が中心になって皆さんと力を合わせて初期消火や早期救出をしなければなりません。そのことの全国周知に努力したのですが、大した進展を見るには至りませんでした。

東日本大震災から5年を迎えますが、この間さまざまな災害がありました。このところの気象は、九州で低温のための断水があるなど本当に異常です。台風のコースなどが変わり、線状降水帯といわれる局地的な豪雨があります。太平洋の海水温上昇が影響しているのではないかと気になるのですが、そうであれば、これからもこのようなことは各地であり得ます。そうしますと、単に何々地方は大雨だという情報だけでは足りず、この地域、この地区の雨はどうなるか、影響があり得る上流の雨はどうかなど、キメ細かい雨の情報の把握が必要です。そして、その地区の自然的社会的条件に応じた対応行動が必要です。それは即時対応のほか、地域の状況に応じたキメ細かい対応が必要ということです。大規模な広域にわたる災害でも、局地的な災害であっても同じです。まさに防災の原点は「地域」だと思います。

そして、ここにいう「地域」は「地域の人たちの行動」という意味でもあります。気象庁の雨の情報などを把握し、地域の状況に応じた行動をするのは、人です。そこでは中心になる人が必要です。消防団の皆さんにはご苦勞が多いでしょうが、やはり、皆さんそれぞれのお力をだして頂きながら、地域のリーダーとして活躍して頂かなければならないでしょう。このことが消防団と地域との結びつきを一層強くし、団員確保など消防団の発展につながるのではないのでしょうか。

このところ、極めて異例なのですが、将来の消防防災のために必要と思って、このことに関連する通知を出させて頂いています。よろしくお願ひしたいと思ひます。

地域防災力充実強化へのイベントは、今年も各地で行われます。

第42回消防団幹部特別研修を開催

(公財)日本消防協会

平成28年1月12日(火)から15日(金)までの4日間、日本消防会館において、各都道府県代表の消防団長及び副団長の中から推薦された46名が出席し、「第42回消防団幹部特別研修」を開催しました。三重県からは研修開催初となる女性副団長も参加されました。

開講式で当協会秋本会長、佐々木消防庁長官のご挨拶をいただいた後、新潟県糸魚川市消防団池亀団長の宣誓により研修がスタートしました。

研修では、秋本会長の「講話」、そして消防庁危機管理センターで受講した「消防行政」「防災対策」により、最新の消防行政の動向、施策について学びました。

また「消防団実務」、「火災防ぎよ」、「惨事ストレス対策」、「消防団活動事例」や災害情報の有効な利用を図るための「災害情報」、災害活動の向上を目的とした図上訓練の実施方法等を紹介

した「危機管理」など、様々な内容の講義を受講し、消防団幹部として必要な知識を得ることができました。

さらに、「東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊(通称:ハイパーレスキュー)」に出向き、視察研修を実施し、現役の隊員から大規模災害等で使用する特殊車両や救助活動用資機材等を実物に触れながら説明を受けることができ、今後ますます重要になる消防団による救助活動の知見を広げることができました。

研修の最終日には、研修期間中を通して6班に分かれて活発に討議してきた課題について班ごとに発表を行い、全体で問題意識の共有を図り、その問題への対応や最新の取り組みについて意見交換を行いました。

短い期間ではありましたが地域を越えた交流の図られた大変有意義な研修となりました。

【課題研究討議のテーマ】

- ・消防団を中核とした地域防災力の充実強化の具体的方策について
- ・大規模災害時における消防団本部の運営について
- ・大規模災害時における現場活動の問題点と団員の安全対策について
- ・消防団員の確保対策について



池亀総代による「宣誓」



開講式後の集合写真



課題研究討議の様子



山本副総代による修了証及び記章の授与

第42回消防団幹部特別研修 日程表

1日目【平成28年1月12日(火)】

時 間	時間数	区分・科目	摘 要 ・ 講 師
12:30～13:00	受 付	5階大会議室	
13:00～13:20	20	開講式リハーサル	事務局
13:25～14:00	35	開講式・記念撮影	5階大会議室
14:10～14:40	30	オリエンテーション	事務局
14:40～15:50	70	会長講話	日本消防協会 会長 秋本 敏文
16:00～17:20	80	課題研究討議	日本消防協会 業務部担当
17:30～			ホテルへ移動、チェックイン後意見交換会会場へ移動

18:30～ 意見交換会 東急REIホテル1F

【研修期間中のホテルにおける朝食及び出発時間】

時 間	時間数	区 分	場 所
6:30～	朝食	ホテルレストラン	
8:30～	出発	玄関前集合	日本消防会館へ移動

2日目【平成28年1月13日(水)】

時 間	時間数	区分・科目	摘 要 ・ 講 師
9:00～9:20	20	視 察 消防庁危機管理センター	
9:20～10:00	40	消防行政	消防庁 国民保護・防災部長 横田 真二 講師
10:10～11:00	50	防災対策	消防庁 地域防災室長 木村 宗敬 講師
11:00～11:20	20	移 動(消防庁～日消)	
11:20～12:10	50	課題研究討議	日本消防協会 業務部担当
12:10～13:00	50	昼 食	
13:00～13:50	50	日本の救急医療の問題点	聖路加国際病院 名誉院長 日野原 重明 講師
14:00～14:50	150	危機管理	Blog 防災危機管理トレーニング 主宰 日野 宗門 講師
15:00～15:50			
16:00～16:50			
17:00～			ホテルへ移動(各自で夕食)

3日目【平成28年1月14日(木)】

時 間	時間数	区分・科目	摘 要 ・ 講 師
9:00～9:50	50	災害情報学	静岡大学防災総合センター 牛山 素行 講師
10:00～11:10	70	惨事ストレス対策	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 松井 豊 講師
11:20～12:10	50	消防団実務	東京消防庁 消防団課長 土居 斉 講師
12:10～13:00	50	昼 食	
13:00～13:50	50	火災防ぎょ	東京消防庁 参事兼警防課長 五十嵐 幸裕 講師
14:30～17:00	150	視 察 東京消防庁 第二方面消防救助機動部隊	

4日目【平成28年1月15日(金)】

時 間	時間数	区分・科目	摘 要 ・ 講 師
9:00～9:50	50	消防団活動事例	長野県白馬村消防団 団長 横山 義彦 講師
10:00～12:00	120	課題研究発表	消防庁 対策官兼消防団専門官 伊勢村 修隆 講師
12:00～12:40	40	昼 食	
12:40～12:55	15	閉講式リハーサル等	事務局
13:00～13:30	30	閉講式	5階大会議室
13:30～		解 散	

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 秋本敏文 日本消防協会会長 出演

(放送日 平成28年1月2日、3日)

(公財)日本消防協会

山本アナ：「おはよう！ニッポン全国消防団」、改めまして今日のゲストは、公益財団法人 日本消防協会の秋本会長です。明けましておめでとうございます。さて、さっそくですが今年には消防にとってどんな年ですか。

秋本会長：今年には、あの東日本大震災から5年という年です。2万人もの方々がお亡くなりになり、消防団員、職員も多数殉職という大変つらい体験をしました。その後も、台風、集中豪雨、竜巻、大雪、火山噴火など様々な災害があります。住宅などの火災も後を絶ちません。全国いつでも、どこでも、何でもある位に思っていなければなりません。

山本アナ：そのような中、消防はどう対処するのですか？

秋本会長：色々な経験を教訓として活かして、とにかくどんなことがあっても生命を守り抜く、被害をできる限り小さくする、そういう体制をつくりあげなければなりません。そのことを思いながら、日本消防協会として新しい法律を制定して頂くようお願いしたのですが、国会議員の方々のご尽力で平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」という、これは日本の消防の歴史のなかでも画期的な法律が成立しました。この法律を活かしながら消防防災体制の強化を進めなければならぬと思います。

山本アナ：この法律は消防団が大事だ、消防団をみんなで応援するんだということをはっきり書いて、そうして防災のためには、地域では消防団が中心になって地域の皆さんの総力を結集する防災体制をつくろうという方向を定めたものだそうですが、そうすると、一般の国民の皆さんにとっても大きな関わりがありますね。

秋本会長：そうなんです。今新しい法律のもと、地域の一般の皆さんも一緒にみんなで守ろうという体制づくりを目指すのは、新たなスタートといってよいのではないかと思います。

山本アナ：そのような体制づくりを目指すというのは、やはりこれから災害を考えた時に、是非必要ということですか。

秋本会長：そうだと思います。最近の災害の事例をみていまして、広い地域にわたる災害でも、局地的な災害でも、生命を守るためにどうするか、どの地域の人が、どのタイミングで、誰が誰を助けるということまで含めて、避難はするかというような具体的な動きを考えますと、それはその地域の自然的条件、住宅の建ち方、住んでいる人、社会的条件などに応じて、特に、人と人のつながりの中で動いていかなければなりません。

それには地域の皆さんのつながりの中で、その地域の中の協力があって初めて実現できるのですが、そのような地元の体制作りが大事だと思っています。そういった、地域のお力を結集した地域防災力というようなことが必要であり、その実現をめざすということになりました。

山本アナ：しかし、これは地域コミュニティが段々なくなっているといわれるような時代ですから、簡単ではないでしょうね。

秋本会長：いろいろな事情はあるでしょうが、しかし今は、安全に暮したいという方々が多いと思いますし、そのためには、皆で力を合わせていくことが必要なんだということをご理解頂くようにしていかなければならないでしょうね。そして、この場合に地域の中核的な組織としては消防団が大事だと思いますし、女性防火クラブとか少年消防クラブとか、自主防災組織のリーダーの方々とか、皆さんの役割が大事だと思います。

山本アナ：そのようなことのために、これまでもいろいろやっておられると思いますが、これからどうされますか。

秋本会長：そうですね。消防団については団員の確保や装備の充実などが必要ですが、これは消防庁の方でも一生懸命やっておりますし、私たちも引き続き努力します。女性防火クラブなどについては、幹部の方々や、指導者の方々にお集まり頂いて情報交換の機会をつくっています。少年消防クラブは、ヨーロッパの大会派遣や国内での全国大会など、いろいろな形で応援しています。平成27年4月から「地域防災」という総合的な情報誌を出してまして、国や地方公共団体の政策的な動き、全国各地での一般の皆さんの活動などの幅広い情報を提供しています。今年も一層充実させたいと思います。そしてもうひとつ、世界各国でもこのようなことへの関心があるので、10月に世界初の国際会議、「地域防災と消防団」国際シンポジウムを開くことにしています。こうして世界の情報も活かしていこうと思います。

山本アナ：今年もいろいろあるようですが、そろそろお時間ですので、最後にメッセージをお願いいたします。

秋本会長：消防団の皆さんは、それぞれお仕事をお持ちの中で、ご苦労が多いと思いますが、今日もいろいろお話ししましたように、安全に暮していくうえで、消防団は本当に大事です。今年も皆さんどうぞよろしく願います。私たちも、微力ですが、一生懸命応援します。

山本アナ：ありがとうございました。「おはよう！ニッポン全国消防団」、新年一回目の今日は、公益財団法人 日本消防協会 秋本敏文会長をお迎えしてお送りいたしました。秋本会長、どうもありがとうございました。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、平成27年11月から平成28年1月までに放送した出演者を紹介します。

平成27年11月放送分に
出演の消防応援団
西川きよしさん



11月7日又は8日放送



青森県
八戸市消防団
分団長
磯島 守さん

収録は緊張しましたが、貴重な体験をさせていただきました。

全国の皆様、三陸復興国立公園の種差海岸、無島の観光へお越しください。

11月21日又は22日放送



愛媛県
大洲市消防団
副団長
矢野 正祥さん

収録では西川きよしさんからたくさんのパワーを頂きました！

「自らの郷土は自ら守る」の郷土愛護の精神でこれからも頑張ります！

11月14日又は15日放送



岐阜県
白川村消防団
団員
成原 幸喜さん

ラジオ出演は緊張しましたが、いい経験でした。
これからは白川村消防団員として、村民の生命と財産、そして世界遺産を全力で守ります。

11月28日又は29日放送



長崎県
島原市消防団
部長
寺田 真太郎さん

いろんな人と出会い、今の自分がいます。その事で意見発表やラジオ出演までさせていただきました。
この経験をいかせていけたらと思います。

平成27年12月放送分に
出演の消防応援団
徳光和夫さん



12月5日又は6日放送



神奈川県
葉山町消防団
分団長
石井 裕一さん

消防団活動をしていて感じる事。地域の絆が大切なこと、地元を愛すること、仲間を信頼しあえるから災害活動ができるということ。

12月19日又は20日放送



鳥取県
鳥取市消防団
団員
安達 由紀さん

徳光さん、山本アナウンサーから励ましのお言葉を頂いたので、これからも家族3人で消防団活動に力を入れて頑張っていきたいと思っています。楽しい思い出をありがとうございました。

12月12日又は13日放送



岩手県
久慈市消防団
分団長
及川 忠則さん

自身の話をどんどん引き出していただき、ありがとうございました。
今後も、家族・同僚・団員への感謝を胸に、活動したいと思います。

12月26日又は27日放送



鹿児島県
薩摩川内市消防団
副団長
中川 三継さん

水難救助等、離島における消防団活動や、航空自衛隊自衛消防隊との合同訓練等を紹介できたことが良かったと思う。今後とも地域の防人として活動していきたい。

平成28年1月放送分に
出演の消防応援団
古賀稔彦さん



1月9日又は10日放送



静岡県
吉田町消防団
団員
鈴木 啓祐さん

様々な活動を通してたくさんの方々にボディボードの楽しさを伝えていけるようにこれからも頑張ります。
古賀様、山本アナ様ありがとうございました。

1月23日又は24日放送



徳島県
石井町消防団
団員
桑内 正夫さん

柔道家として尊敬する古賀さんから激励され、ますます力みなぎり柔道教室での指導や、消防団活動にも熱が入りそうです。これからも仲間とともに頑張ります。

1月16日又は17日放送



佐賀県
鹿島市消防団
部長
山口 瑞枝さん

女性の視点で人にやさしい活動で地域を守る意識が高まりました。同県人でもある古賀さんとのやり取りでは、郷土愛は自分育てと地域の力を高めることを強く感じました。

1月30日又は31日放送



福岡県
福岡市早良消防団
団員
織戸 美奈さん

操法大会では多くの方々に支えて頂き、一致団結した福岡市早良消防団の強さや優しさを改めて感じました。消防団員であることに誇りとプライド持ち、地域の力になりたいです！

おはよう！ニッポン全国消防団 各局放送時間

2015年4月以降

放送局	略称	放送曜日	放送時間	放送局	略称	放送曜日	放送時間
(株)STVラジオ	STV	日	5:50～6:00	(株)和歌山放送	WBS	土	6:30～6:40
青森放送(株)	RAB	日	7:20～7:30	(株)山陰放送	BSS	日	8:15～8:25
(株)IBC岩手放送	IBC	日	6:15～6:25	(株)中国放送	RCC	日	5:30～5:40
東北放送(株)	TBC	土	5:00～5:10	山口放送(株)	KRY	土	6:45～6:55
(株)秋田放送	ABS	日	6:15～6:25	四国放送(株)	JRT	土	6:40～6:50
山形放送(株)	YBC	日	6:20～6:30	西日本放送(株)	RNC	土	7:35～7:45
(株)ラジオ福島	RFC	土	5:40～5:50	南海放送(株)	RNB	日	6:55～7:05
(株)ニッポン放送	LF	日	6:15～6:25	(株)高知放送	RKC	日	6:40～6:50
(株)新潟放送	BSN	日	7:40～7:50	九州朝日放送(株)	KBC	日	6:15～6:25
信越放送(株)	SBC	日	6:50～7:00	長崎放送(株)	NBC	土	7:25～7:35
北日本放送(株)	KNB	日	6:10～6:20	(株)熊本放送	RKK	土	5:30～5:40
北陸放送(株)	MRO	日	7:40～7:50	(株)大分放送	OBS	日	6:45～6:55
福井放送(株)	FBC	日	6:10～6:20	(株)宮崎放送	MRT	日	6:20～6:30
東海ラジオ放送(株)	SF	日	6:00～6:10	(株)南日本放送	MBC	土	7:20～7:30
大阪放送(株)	OBC	土	6:45～6:55	(株)ラジオ沖縄	ROK	日	6:35～6:45

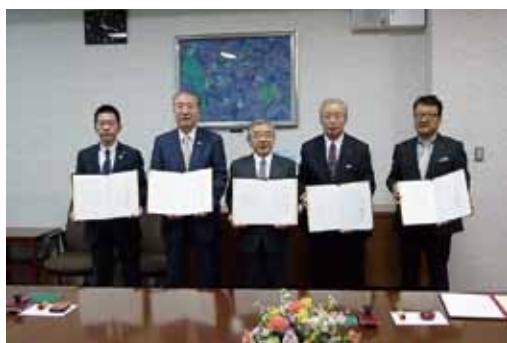
しまね消防団員応援キャンペーン ～来たれ消防団へ 島根県の取り組み～

(公財)島根県消防協会 会長 松浦嘉昭

1 はじめに

島根県内の消防団員数は、平成27年10月1日現在 19消防団 12,292名で一昨年に比べ137名減少しましたが、特にここ数年、減少幅が拡大しており消防団員確保という喫緊の課題に直面しています。

このような状況から、消防団員を応援する気運を地域一体となって高め、消防団員の加入促進や県民の防災意識の高揚を図ることを目的に、島根県、島根県市長会、島根県町村会、島根県消防協会、山陰中央新報社は協定を結び、平成27年12月から「しまね消防団員応援キャンペーン」を開始しました。キャンペーンでは「しまね消防団応援の店」及び消防団協力事業所の普及拡大、しまね消防団員さんさんクラブカード事業の普及等を行います。



調印式

2 しまね消防団員さんさんクラブカード、 しまね消防団応援の店

「しまね消防団員さんさんクラブカード」は、島根県内の消防団員が「しまね消防団員さんさんクラブ」に入会し会員資格を取得

することにより、県内外で600店を超える山陰中央新報「さんさんクラブ協賛店」で割引などのサービスを受けることができますが、その際に提示する消防団員専用カードです。

消防協会は、消防団員に「しまね消防団員さんさんクラブ」への入会を働きかけると同時に、県及び市町村と連携し「さんさんクラブ協賛店」のほかに消防団員が特典やサービスを受けられる「しまね消防団応援の店」の登録を関係団体などへ呼びかけています。平成27年12月1日「しまね消防団応援の店」1号店へ県から表示証が交付され、「しまね消防団員さんさんクラブカード」の利用を開始しました。



「しまね消防団応援の店」1号店



カードを利用する団員

3 「消防団員募集」ラッピングバス

キャンペーンを実施するにあたり、消防団員が不足していることをまず地域住民の皆様を知っていただき、消防団に感心を持っていただくことが消防団員確保の第一歩になると考え、住民の皆様目に触れる機会が多い路線バスの側面に「消防団員募集」広告を掲出したバス5台とフルラッピングバス1台を、平成27年12月から平成28年11月末までの1年間、県内8市町で運行することになりました。

12月1日、消防団員をはじめ関係市町長、議会関係者や保育園児らが出席し、県内5カ所において出発式を行いました。



松江市（フルラッピングバス）



雲南市



益田市



浜田市



松江市隠岐の島町

4 結びに

今や日本と言わず世界中、いつどこでどんな災害が発生するのか、予測できないが故にその不安は年々大きくなっていきます。日本の消防は、先人が公設消防組を設置されて以来、またこれから先も、火災や自然災害などを鎮圧し住民の生命・身体・財産の保護につとめるといふことに幾何の変化もありません。

いつの時代も消防団員は、制服に身を包むことの意義を一人一人自覚するとともに誇りを持ち、地域防災の要として消防活動を展開しなければならないと思考します。一方、私たちは地域の皆様に消防団の重要性を再認識していただくとともに社会的地位の向上を図らなければなりません。

キャンペーンが動き出し「消防団」が新聞やテレビに取り上げられる機会が増えてきました。これらの取り組みは、消防団員確保や活性化など課題解決のためのツールでしかありませんが、そのひとつひとつがいつか大きな花を咲かせ、道標となってくれるよう願っています。

「ほの国消防団・消防団応援事業所」を訪ねて

元東京消防庁丸の内消防署長 谷口 由美子



1 はじめに

「ほの国」とは日本のどのあたりかご存知ですか? 「ほの国」の「ほ」は稲穂の「穂」です。愛知県の三河地域は気候が温暖で弥生時代ごろから農業が活発に行われていたことからこのような名称で呼ばれているそうです。

今回は、「ほの国消防団・消防団応援事業」として、平成27年4月から愛知県東三河地区の5市(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市)2町(設楽町、東栄町)1村(豊根村)で展開されている制度について、豊橋市と豊川市を訪問しお話をうかがいました。

2 事業設立のきっかけ

豊橋市では、定期的に有識者、現役消防団員、OB消防団員等で構成される「消防団の組織等改善協議会」が開かれますが、平成19年に開かれた会議の議題として大きく取り上げられたのが、団員及びその家族への福利厚生でした。豊橋市は団員の平均年齢も若く充足率は高かったようですが、地域によっては苦しいところもあり、「やって良かった」と感じられる福利厚生事業がないかということで検討が始まりました。実際に豊橋市で事業がスタートしたのは平成24年9月。議題として取り上げられてから5年が経過していました。

スタート時の名称は「ええじゃないか消防団・消防団応援事業」。「ええじゃないか」とは幕末に流行った踊りが豊橋が発祥とい

う言い伝えがあるからです。「ほの国」も「ええじゃないか」も地元の人たちが聞けば耳馴染みのある言葉でわかりやすいのだと感じました。

民間事業所の協力と公共施設(動物園や体育施設等)の割引の二本柱での実施を考えていましたが、公共事業の割引について市の内部から「ボランティア団体はたくさんあるのになぜ消防団だけが対象なのか」という声があがりました。これについては「消防団員は災害活動で生命をはっている。若い団員が多いので、消防団活動に出ている間に家族がさびしい思いをすることが多い。この解消策としての福利厚生事業だ。」との説得でハードルを下げていきました。民間事業所については、商工会や薬剤師会等の会合に出て説明をしても、意図が正しく伝わらないという感触でした。そこで消防本部の消防団担当者全員が営業マンになり、1店舗ずつ訪問し1対1の会話をして徐々に店舗数をふやしていきました。

飲食店へ個人的に食事に行った時に「この店は良い」と感じたら即営業活動にはいったこともあったそうです。また、団員からの地域の事業所の情報提供も大きな力になりました。最近ではマスコミにも度々取り上げられ知名度も上がってきており、「どうすれば登録できるのか?」という問い合わせも多くなり、現在では豊橋市だけで200以上の事業所が登録されています。



左から豊橋市山田消防長、豊橋市松下消防団長

豊川市消防本部の消防団担当者の頭の中では、本制度を開始する前から消防団応援事業所制度を導入しようという考えはありました。いつきっかけを作ろうかと考えていた頃に、豊橋市消防本部の担当者から、消防団応援事業所制度を東三河全体でやってはどうかという話が出てきて、制度としての効果も大きいと思い参加を決めました。「ほの国消防団・消防団応援事業」制度の運用開始に先行して、平成26年11月1日豊川市消防団応援事業所設置要綱を定め、広報や勧誘を開始しました。豊川市は1市と4町（旧郡部）が合併しているので商工会も多く、会合の際に説明に行っても商工会が新しい事業を起こすことにためらいがあったようです。一番効果が大きかったのは、消防団員の口コミで事業所を紹介してもらい、消防本部の担当者が説明に行くというアプローチ方法をとりました。サービス内容については「何でも良いですよ」と事業所にお任せしたそうです。勧誘や広報をする際に一番苦労をしたことは「本当に効果があるのか？」という事業所側の思いです。消防団を応援することで団員が店に来てくれて収益が上がることを

期待しているので、果たして本当にたくさんさんの消防団員が来てくれるかわからないことが不安材料になって躊躇する事業所もあったからです。

担当者の苦勞で、平成27年4月から事業は開始され、現在では30を超える事業所が登録をしてくれています。今後がおいに期待できる状況になってきています。

3 制度の内容

そもそも本制度を東三河地区で行うことになったのは、この地区の消防団の年齢は低く、平均年齢29歳の消防団や50歳定年の消防団もあります。消防団長の年齢も若く世代が近いこともあり、課題があると団長同士がすぐに集まって話し合いをする、相談事があれば電話をお互いにかけて合うという関係性がありました。消防団応援事業所制度を団員の福利厚生の実と魅力ある消防団作りを目的に豊橋市が始め、この制度を東三河全体に広げてはという話も、団長同士の意見が先にまとまり、担当者が各市町村へ説明に行くのも「消防団からこういう話がでている」ときっかけが作れてやり易かったようです。

制度の利用方法は各市町村の条例（消防団規則）に規定された消防団員証及び家族施設利用証の提示により、登録している民間事業所に割引等のサービスをしてもらいます。

各市町村の担当者にとって一番ハードルが高かったのはこの団員証を作ることだったようですが、今はほぼ似た様式で各市町村が作っています。家族利用証も消防団員名簿に記載されている家族を対象として4月に1年間有効のものを交付しています。



消防団員証・家族利用証及び表示ステッカー

4 応援事業所では

登録事業所になっている豊橋市の2つの事業所と豊川市の1つの事業所でお話をうかがいました。

はじめにうかがったのはJ R豊橋駅の駅ビルです。駅ビルが応援事業所になっているのは全国でも珍しい例です。応援事業所になったきっかけは、消防本部の担当者が訪問して趣旨を説明したことで、駅ビルは地域に根ざしているものであり、地域の人たちに可愛がってもらいたい。自分の時間を使って活動をしている団員やご家族に慰労の意味で買物を楽しんでもらいたいと考えたからとのこと。駅ビルには100のテナントで作られた「テナント会」があるがこちらもすぐに「協力しよう」という意志表示があり実現しました。

こちらのサービスは700円以上の購入につき200円の値引きがされます。この200

円の値引きについては、年度初めに12枚つづりの割引券を団員に配っておき、利用の都度わたすというものです。5月には使いきってしまうほど積極的に使っている人もいます。



豊橋市駅ビル「カルミア」にて

二か所目にうかがったのは、豊橋市内のお蕎麦屋さん。ご主人も2代続いての消防団OBです。プライベートでも消防団員とは今でもお付き合いがあり、団行事の後にお店を利用してくれる団員がいることが嬉しいと話して下さいました。サービスは何でも50円引きです。朝早くから夜遅くまで団活動をしている団員に代わり家を守る家族のことを思うと、慰労をすることは当然であると話して下さいました。また、地域の中の活動の中心になっているのが消防団OBであり、年齢的に若くても積極的に自治会を引っ張っている。消防団員を積極的に勧誘すれば将来の自治会活動も困らないということに自治会が気づき始めたそうです。消防団に入って得したと思ってくれる人が増えれば良いと話して下さいました。



豊橋市「そば処 砂場」にて

三か所目は豊川市の焼肉屋さんです。やはり消防団OBの方です。きっかけは地元の後輩の副団長に声かけられたことで後輩の団員たちを応援しようと思ったからだそうです。サービス内容は、おすすめホルモンの試食サービスと黒板メニューの100円引きです。サービスをしていけばお店を選ぶときの選択肢に上がることが商売的にも意味があり、両者にメリットのある企画と考えて登録をしたそうです。今はネットで割引券などがもらえるから、消防団だけが得をしているとは考えていない、更に物販など業種が拡大していけば良いなど、社長の地域貢献への熱意が伝わる話をしていたきました。



豊川市「夏目ホルモン店」にて（左は足立消防団長）

3事業所で聞いた共通の悩みは、消防団員証を示してくれないのでサービスをしてあげられないとのことでした。せっかくの良い制度ですから、団員達に利用についての広報をもっと積極的に行い、遠慮や「本当に使えるの?」といった気持ちをなくしていくことが、この制度の成功の可否に通じると感じました。

5 おわりに

今回の取材で聞こえてきたのは、この制度を全国展開できないかという声です。全国の消防団員を対象とした福利厚生事業が展開されることは、消防団員やその家族の為だけではなく、各地での経済の活性化にもつながると考えます。しかし、4年間の取材を通じてわかったことは、同じ消防団応援事業所制度であっても、その地域によって成り立ち、応援内容、地域の反応等がまったく異なるということです。したがって、全国展開へもっていくためには地域のやり方を大事にしながら進めていくことが肝要です。また、今回取材をした東三河地区のエリアだけでも団員証を作ることにハードルの高さを感じているのですから、団員やその家族の確認方法など全国への道のりの中で解決すべき課題はあります。

消防団応援事業所制度は、消防団員やその家族のためだけではない、消防団の活性化はもとより地域の活性化につながる制度であることを確信し、全国への更なる広がりを期待して筆をおくことといたします。



「幸せ実感都市 みずなみ」

～ 共に暮らし 共に育ち 共に創る ～



瑞浪市消防団 団長 大島 忠和

1 瑞浪市の紹介

瑞浪市は、岐阜県の南東部に位置し、人口は38,984人、面積は174.86 k㎡、市域の70%を山林が占め、緑豊かな自然環境を有しています。

古代は東山道、中世は鎌倉街道、近世は中山道の宿場町として、東西の政治・経済・文化が流入して栄えた歴史のあるまちで、現在は東西に国道19号線、中央自動車道、JR東海中央本線が走り、南北には東海環状自動車道が中央自動車道に接続しており、交通アクセスに大変恵まれています。

産業では、良質な土を原料とした陶磁器生産を地場産業とし、志野や織部を代表とする美濃焼で、伝統と技を活かし、更なる飛躍を目指して「みずなみ焼」のブランド確立に努めています。また、ゴルフの町み

ずなみと言われるように、LPGA TOUR ゴルフ5レディーズプロゴルフトーナメントが開催される等、瑞浪市内には13のゴルフ場があり、多くの方々が来場されます。

2 瑞浪市消防団の概要

市制発足の昭和29年には7つの消防団1,062名であり、昭和31年12月に消防団統合により団本部他7分団788名の編成で、瑞浪市消防団として発足しました。

現在は、団本部他5分団、音楽分団、女性分団で組織され、実員451名の消防団員が所属し、団司令車1台、救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車1台（総務省消防庁からの借受）、消防ポンプ車5台、小型動力ポンプ付積載車23台を配備し、訓練及び災害等の活動に運用しています。

3 消防団の活動等について

瑞浪市消防団の主な活動として、通常の災害対応の他に年度始めの入退団式及び幹部講習会（規律訓練）から始まり、平常時の各種訓練、操法大会、火災予防運動防火宣伝、普通救命講習会、年末特別警戒、出初式、全団訓練及び地域の催物・イベント参加・警備など多岐にわたる活動を実施しています。

全国的に消防団員のサラリーマン化が進



世界一のこま犬

み、消防団員確保が困難な昨今、瑞浪市においても消防団が一番手薄な時間帯（平日昼間）に消防団員の空洞化が生じています。地域防災力の低下が懸念される中、平日昼間の時間帯の地域防災力を補完することを目的として、平成23年4月から災害支援団員（機能別団員）を運用しています。



出初式分列行進

4 女性消防分団の活動

平成7年7月、音楽隊の設立時に初めて女性消防団員が入団しました。音楽隊として音楽演奏の他に火災予防啓発等の消防団活動を行っていましたが、平成26年4月、音楽隊とは別に団本部付で8名の女性消防団員が入団し、火災予防、初期消火及び普通救命講習等の消防団活動に必要な教育を終え、平成27年4月から新たに3名の仲間と共に総勢11名で女性分団として、女性の持つソフトな面を活かして市民への火

災予防啓発活動、応急手当の普及啓発指導（普及員資格を取得済み）及び発災時は後方支援活動等に備えるための訓練に励んでいます。



女性分団

5 おわりに

消防団活動は、火災、風水害及び地震等の大規模災害への対応と多岐にわたり、地域住民の信頼は多大なものとなっています。団員が日々の仕事を終えた後、真摯な態度で訓練に取り組んでいる姿は、本当に美しいものです。消防団は地域住民の安全、安心をあらゆる災害から守るという使命を果たすため、日々訓練を重ね、消防技術の向上に取り組み、「地域防災のリーダー」として住民に信頼され、親しまれるよう日々励んでまいります。



「安心・安全な まちづくり」



花巻市消防団 団長 小原 勇孝

1 花巻市の紹介

平成18年1月1日に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の1市3町の合併に伴い、新「花巻市」が誕生しました。

岩手県の内陸部ほぼ中央に位置し、本県唯一の花巻空港が所在し、道路は東北縦貫自動車道や東北横断自動車道、鉄道は東北新幹線をはじめ東北本線や釜石線と、空路、高速道、鉄道の三拍子そろった高速交通の要衝となっています。

また、雨ニモマケズ風ニモマケズの詩人宮沢賢治誕生の地、詩人で彫刻家の高村光太郎が晩年を過ごした「花巻」。貴重な高山植物の生育地として知られる早池峰山と神楽とワインの里「大迫」。日本三大杜氏の一つである南部杜氏発祥の地「石鳥谷」。近代美術の先駆者萬鉄五郎の誕生の地であり、ウォータースポーツの

盛んな田瀬湖を有する「東和」など、花巻市は豊かな自然、歴史、文化を持ち、これらを基盤として活発な交流を展開させ、積極的に地域の発展整備が続けられております。

2 花巻市消防団の概要

平成18年1月1日の市町合併による名称変更、平成19年4月1日の消防団統合による名称変更を経て花巻市消防団が誕生しました。

平成27年4月1日現在、23分団124部、団員数1,916名(条例定数2,142)ポンプ自動車43台、小型動力ポンプ付積載車87台を配備。消防団員の責務を全うする基本はまずもって厳正な規律、統制ある行動であるとの信念に基づき市民の「安心・安全」のため活動しています。



SCU (消防団員傷病者搬送活動)

3 花巻市消防団の活動

平成23年3月11日発生の東日本大震災では、東北地方太平洋沿岸を中心とする広範囲な地震、津波さらには原子力発電所事故が発生し大きな被害がありました。

花巻市では最大震度6弱を記録し、負傷者18名、建物、イ

ンフラ等にも大きな被害がありました。

岩手県災害対策本部から、花巻空港にSCU（広域搬送拠点臨時医療施設）を設置するため、指揮調整員の派遣指示があり、消防職員だけでは人員が不足することから団員の出動を指示し、花巻空港内SCUにおいて待機態勢を取りました。

翌日、全国各地から参集したDMAT（災害派遣医療チーム）58チーム275名やドクターヘリ、防災ヘリ、自衛隊ヘリなどの関係機関と連携し、被災地から花巻空港にヘリ搬送された負傷者を、空港内のSCUへ収容し、処置後救急車等で医療機関へ搬送、また自衛隊輸送機で遠隔地の医療機関へ場外搬送する患者搬送業務と併せて、SCUから沿岸被災地の医療拠点への医療物資輸送業務に延べ57名の消防団員が従事しました。

災害出動以外の年間活動として、「消防演習」「消防操法競技会」「消防出初式」のほか、春先の乾燥時期、春秋の火災予防運動、年末年始等に特別警戒巡回広報を実施しています。

6月第2日曜日に開催する消防演習では、消防車両約130台、消防団員、婦人消防連絡協議会、花巻高等看護専門学校生による分列行進、北上川河川敷会場において各種訓練、車両70台による一斉放水訓練、幼年消防クラブ員による演技を市民に披露しています。

消防演習と併せて「消防フェスティバル」を開催し、消防車両の展示、消防自動車体験搭乗、



消防演習（一斉放水）

放水体験等を行い、広く市民にPRしています。

4 おわりに

近年、全国各地で地域住民の生命、財産を脅かす災害が多数発生しております。消防団は、地域実情に精通し、統一指揮のもと災害対応力、団員の動員など地域社会に欠かすことのできない組織として、市民から厚い信頼を得ております。今後とも市民が安全で安心して暮らせる「花巻市」実現のために団員一同、なお一層の努力を続けてまいります。



消防演習（幼年消防クラブ）



「住民から期待される 消防団を目指して」



美馬西部消防組合消防団 団長 東出 忠

1 美馬西部の概要

美馬西部地域とは、吉野川「徳島県の四国三郎」延長、194 kmのほぼ中心域に位置し西日本第二の高峰「剣山」をはじめ山々がちな山間地域です。総面積、241.28 k m²、総人口、19,100人、春から秋にかけては登山客が多く、夏は吉野川と、その支流の、貞光川、半田川での鮎釣りに多くの太公望達が集まります。また、半田ソーメン、愛宕柿、「美馬辛」唐辛子、吊し柿などの特産物が有名です。

そして、桃花遊々(桃の節句)、月花遊々(月見の会)、ソーメン祭り、貞光阿波踊り大会など四季折々にイベントが開催されています。



徳島県消防防災航空隊の出初式祝賀散水

2 美馬西部消防組合消防団の紹介

美馬西部消防組合消防団は平成17年合併によりできたつるぎ町と、美馬市美馬町を管轄としており、消防団員、400名定員で、本団と1～24分団で構成されています。

各分団にはすべて、四輪駆動の消防自動車小型ポンプ、山林火災用の軽可搬ポンプ、無線機などを配備し、地元消防署や近隣の消防団とも連携し、日夜住民の生命、財産

を守るという使命を全うするために活動しています。

3 美馬西部消防組合消防団の活動

美馬西部地区管内では、吉野川、その支流の貞光川、半田川という河川があります。団員は、放水訓練は元より、大雨による洪水、浸水、土砂災害に対応するために、土嚢作りや、ロープワークなど、水防工作技術の習得や、AEDを使用した心肺蘇生法などの救命講習を受講しています。その他、少年少女消防クラブと合同練習、香川県仲多度南部消防組合消防本部、並びにまんのう町消防団との三

頭トンネル防災訓練を行っています。年末には年末警戒を3日間実施し、火災予防の啓蒙に努めています。また、管轄地域が高峰「剣山」を含む山間地域であるため、近年の登山ブームにより、登山者も多くなり、山間での遭難が発生しております。昨年、黒笠山で3名が遭難し消防団が出動、幸い地元団員達の活躍により無事救出することが出来ました。団員には日頃の訓練で、どんな災害や捜索にも対処出来るよう、災害対応能力の強化と技術の錬磨を指示しており、それに十分応えてくれたものと思っています。今後とも団一丸となり、住民の負託に応えられるよう、消防団活動に邁進していきたいと考えています。



少年少女消防クラブと消防団員との合同訓練

4 おわりに

近年、各地で地震や土砂災害など、異常気象による多くの自然災害が発生しております。我々の地域でも、近々に南海トラフ地震が発生すると言われていた今、いかなる災害にも冷静に対応できる、消防団を築いていくことで「自分たちの地域は自分たちで守る」「住民の生命、財産の保全」という、理念と使命を全う出来るはずだと確信しています。更に今後一層精進して、住民から益々期待される消防団員を目指したいと思います。



消防団による出初式祝賀放水



シンフォニー（京都府） “市民の安心・安全の まち創りを目指して”

木津川市消防団女性部 部長
平田 克子

京都府木津川市は、近畿地方のほぼ中央に位置し、京都・大阪の中心部から約30 km圏内に位置することから、通勤等にも非常に便利がよく、UR都市再生機構による宅地開発も進み、年々、人口が増加している自治体であります。また京都府内では、京都市に次ぐ国指定有形文化財を有するなど、ロマンあふれる文化財や豊かな自然・里山など、先人から受け継がれてきた資源がある一方で、近年では国家プロジェクトである「関西文化学術研究都市」の一翼を担う都市として、建設が進められています。

私たち、木津川市消防団女性部は、平成15年6月に合併以前の木津町時代に発足され、平成19年市町村合併により木津町・加茂町・山城町の3町が木津川市となり、本年13年目を迎えています。現在、女性団員数は25名で学生から主婦までと幅広い年齢層で活動しています。

活動内容は、主に啓発活動ですが、出初式、各種訓練にも参加し、救命講習や応急手当指導員の資格も取るなど、技術と知識の向上に努めております。また、月1回のレッド走行(赤色灯を回転させ巡回パトロールを行う。)や定例会議の中で団員同士のコミュニケーションを図っております。常備消防であります相楽中



防災訓練での啓発活動

部消防本部とも連携し、啓発活動に取り組みながら、市民の安全を守る為、日々、活動に励んでいます。

また、毎年、市が主催する防災訓練に女性部も参加することにより、来るべき災害に備えて、出来る限りの実践に近い訓練を実施し、消防団員の相互の協力体制を確立し、消防本部との連携を図ることをもって、木津川市民の安心安全のまち創りに寄与していくとともに、想定された災害現場で様々な訓練を行い、あらゆる災害に迅速かつ正確に対処出来る技術を全団員が習得することを目的としています。

平成27年度の防災訓練では、水害、土砂災害を想定し、市民参加型の避難訓練を実施しました。

女性部は避難所での負傷者の応急処置の訓練にあたり、実際に怪我をして出血した場



出初式での分列行進

合の止血方法と骨折した場合の応急処置について、避難訓練に参加された住民の方々に説明いたしました。参加者は、災害に対する意識も高く、感心を持って聞いて頂きました。

訓練後、私の住んでいる自治会から防災知識を教えに来てほしいとの声があり、努力が報いられたと感じながら、今後も活動を続けていきたいと思いました。

また、救急フェア、消防フェアにも参加し、災害時や緊急時の為の防災知識を少しでも市民の皆さんに理解していただく為、非常持ち出し品の展示、説明を行い、「市民の方々に準備出来ていますか？」とパンフレットを配布し呼びかけをしています。

子ども達にも防災について関心を持ってもらうために、

防災カルタ、防災スゴロク、防災紙芝居なども行っています。

今後も市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを目指して、各種訓練・講習を通じて、知識、技術の向上を図りながら、少しでもお役に立てるように活動をしていきたいと考えています。あわせて、心のサポートができる女性消防団でもありたいです。



救急フェアでの啓発活動

都道府県における消防操法大会の結果

(公財)日本消防協会 都道府県消防協会

(公財)日本消防協会では、消防団員の消防技術の練磨と士気高揚を目的に、全国で開催される消防操法大会に要する経費について、消防団員等

福祉共済事業の援助を受けて交付しています。
平成27年度の各都道府県消防操法大会の開催結果は、次のとおりです。

☆北海道

7月17日(金)北海道消防学校

小型ポンプの部

【優勝】 南空知消防組合南幌消防団

【準優勝】 北留萌消防組合遠別町消防団

【優良賞】 胆振東部消防組合鶴川消防団

釧路東部消防組合厚岸消防団

平成27年度北海道消防操法訓練大会が日本消防協会会長(代理:生嶋常務理事)をはじめ、多数のご来賓を迎え盛大に開催されました。大会には、応援の家族や消防関係者ら約800人が詰めかけ、日頃の訓練成果を発揮しようとスピード、チームワークなどを競いました。

昼休みには、全国女性消防操法大会に出場する遠軽町丸瀬布女性消防隊による軽可搬ポンプ操法が披露され、隊員の一生懸命な姿に会場中から拍

手喝采が送られ、札幌市消防音楽隊によるドリル演奏もこの大会に花を添えて、盛会裏のうちに終了しました。



北海道

☆秋田県

9月4日(金)秋田県消防学校

小型ポンプ操法の部

【優勝】 美郷町消防団第2分団

ポンプ車操法の部

【優勝】 鹿角市消防団第5分団

平成27年9月4日(金)、第52回秋田県消防操法大会が、由利本荘市にある秋田県消防学校で行

われ、県内9支部の予選を勝ち抜いた小型ポンプ操法の部9分団、ポンプ車操法の部7分団の精鋭が会場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

また、10月15日に実施される第22回全国女性消防操法大会に秋田県代表として出場する大仙市女性消防隊が軽可搬ポンプ操法を披露され、会場からは、大きな拍手と熱い声援が送られ、大会は大成功となりました。



秋田県



秋田県

☆山形県

7月12日(日)～9月13日(日) 7会場で開催
各支部優勝チーム

支部名	ポンプ車の部	小型ポンプの部
東南村山	上山市消防団	中山町消防団
西村山	競技なし	西川町消防団
北村山	東根市消防団	大石田町消防団
最上	競技なし	金山町消防団
東南置賜	高畠町消防団	川西町消防団
西置賜	飯豊町消防団	長井市消防団
庄内	鶴岡市消防団	庄内町消防団



山形県

山形県消防協会(会長 渡邊 茂治)では、消防団の消防操法技術の向上と士気高揚のため、協会の支部ごとに山形県消防操法実施要領(全国消防操法実施要領と同じ)に基づき、水だし消防操法を実施しました。

期間中、県内の7会場において、各出場チームが、日頃の訓練の成果を競い合い、真夏の暑さも爽やかに感じさせるほどの素晴らしい大会になりました。

本大会では、ポンプ自動車の部には28隊168名、小型ポンプの部には52隊270名の隊員が出場し、隊員たちが流す汗に会場からは、惜しめない拍手が送られていました。



山形県

☆新潟県

7月26日(日) 阿賀町

ポンプ車操法の部

【優勝】 聖籠町消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 長岡市消防団長岡北部方面隊第15分団

7月26日(日)、新潟県内の消防の団結・士気高揚と消防技術の向上を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的として「第66回新潟県消防大会」を阿賀町で開催しました。



新潟県

操法競技会は好天に恵まれ、ポンプ車操法及び小型ポンプ操法の2部門に計27チームが参加し、猛暑の中、各チームとも日頃の練習の成果を如何なく発揮し、まさしく魂まで燃え尽くす、熱い大会となりました。

ポンプ車操法の部では、聖籠町消防団が、また、小型ポンプの部では、昨年に続いて長岡市消防団長岡北部方面隊第15分団が優勝し、地元に錦を飾りました。



新潟県

☆東京都

10月10日(土) 東都消防訓練所

ポンプ車操法の部(多摩、島しょ地区)

【優勝】 福生市消防団

【準優勝】 多摩市消防団

【第三位】 大島町消防団
狛江市消防団

可搬ポンプの部(特別区)

【優勝】 志村消防団

【準優勝】 矢口消防団

【第三位】 芝消防団
小石川消防団
品川消防団

平成27年10月10日(土)、渋谷区幡ヶ谷の東京都消防訓練所(東京消防庁消防学校)において第45回東京都消防操法大会が開催されました。

正業に就きながら昼夜を問わずに災害、訓練にと励んでいる消防団ですが、1年に一度のこの大

会では、その訓練の集大成として、各方面支部代表の可搬ポンプの部14隊、ポンプ車の部10隊で消防操法の技術を競いました。

会場には、出場選手はもちろん、応援の消防団員、団員家族、そして出場する消防団の地域応援団などで会場の消防学校のグラウンドが溢れんばかりの人だかりとなりました。



東京都



東京都

☆千葉県

平成27年7月25日(土)千葉県消防学校
ポンプ車操法の部

【優勝】野田市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】市原市消防団

第51回千葉県消防操法大会は、真夏の暑い日差しの中、森田健作千葉県知事をはじめ、県内の消防関係者や応援の家族等を含め約2,000名が参

加して盛大に開催されました。

県内の各支部(10支部)から厳しい予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

会場には各出場チームのテントが立ち並び、必勝祈願の幟旗が翻って、それぞれのチームに対し、盛大な歓声上がり、応援も盛り上がっていました。



千葉県



千葉県

☆茨城県

第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会及び、第25回全国消防操法大会茨城県代表選考会

毎年恒例の消防ポンプ操法競技大会が、9月27日(日)の県北地区大会を皮切りに県内6地区で開催されました。

今年は関東・東北豪雨の影響で2チームが不参加となりましたが、昨年引き続き猛暑の中で訓練に励んでこられた各チームの選手の皆さんにより熱戦が繰り広げられました。各地区大会の成績については、別表のとおりです。



茨城県

地区名	ポンプ車操法の部	小型ポンプ操法の部
県北	ひたちなか市	大子町
県央	小美玉市第5分団	小美玉市
鹿行	潮来市	潮来市
県南南部	取手市	阿見町
県南北部	石岡市	石岡市
県西	桜川市	—

また、来年開催予定の「第25回全国消防操法大会」に出場する本県代表チームを決めるため、11

☆長野県

7月26日(日) 諏訪市 諏訪中央公園スポーツ広場、諏訪湖スタジアム

ポンプ車操法の部

【優勝】 諏訪市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 上田市消防団

消防ラッパ吹奏大会

【優勝】 辰野町消防団

長野県と公益財団法人長野県消防協会の共催による「第57回長野県消防ポンプ操法大会」及び「第24回長野県消防ラッパ吹奏大会」を開催しました。

競技には県下13地区から選抜された、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部13チー



長野県

月21日(土)、茨城県立消防学校において代表選考会を開催しました。

この選考会には、県内各地区で開催した「第66回茨城県消防ポンプ操法大会」において、「小型ポンプの部」で優勝した4チームが出場しました。

競技は9時50分から始まり、それぞれ各地区大会を勝ち抜いたチームだけあって、甲乙付けがたい白熱した素晴らしい操法が披露され、応援席からも惜しみない声援が送られていました。

結果は、阿見町消防団が激戦を制して優勝し、全国大会出場の切符を手に入れました。

ム及びラッパ吹奏13チーム、エキシビジョンとして、女性による小型ポンプ操法2チームが出場し、大会関係者、観客と合わせ約3,000人が参加しました。

また、消防団ラッパ隊との交流を行い、消防ラッパ吹奏技術の更なる向上、消防団のイメージアップなどを目的とした「消防団ラッパ隊広域交流会」を県ポンプ操法・ラッパ吹奏大会に併せて開催しました。

大勢の消防団員や一般来場者が見守る中、群馬県中之条町消防団、岐阜県中津川市消防協会及び長野県諏訪消防協会の各ラッパ隊は、各地域ならではの曲目を次々と披露し、観客から大きな拍手が送られました



長野県

☆福井県

平成27年7月25日(土) 福井県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 嶺北消防組合坂井消防団 第3分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 福井市消防団 東郷分団

福井県消防協会(会長 藤田貞武)では、福井県と共催で第64回消防操法大会を福井県消防学校(福井市大畑町)で開催しました。

大会では、厳しい暑さのなか、日頃の訓練成果を発揮しようと、奮闘する選手たちの汗と気迫あふれる操法に会場中が、真夏の入道雲のように沸き立ち、さながら、夏の全国高校野球大会のような



福井県

白熱した大会となり、会場からは、選手たちの勇姿に対して、熱い涙と大きな拍手が送られました。

9地方の消防協会から選出された、ポンプ車の部9チームおよび小型ポンプの部7チームの選手



福井県

たちは、地元の応援や消防関係者の声援を受け、日頃の訓練の成果を力一杯発揮し、おおいに盛り上がりました。



福井県

☆石川県

7月25日(土) 石川県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】金沢市第一消防団 野町分団

石川県消防協会(会長 澤飯英樹)では、平成27年7月25日、県消防学校において、各地区大会を勝ち抜いた精悦18消防分団により石川県消防操法大会が開催されました。

ポンプ車操法では、各分団が纏やのぼり旗などを掲げた声援を送るなか、地区の名誉を背負って頑張る隊員たちは、日頃の厳しい訓練で培った技

能を遺憾なく発揮する緊張感に満ちた競技を繰り返しました。

また、競技終了後、第22回全国女性消防操法大会に出場する白山市出城女性消防隊による軽可搬ポンプ操法が披露され、全国大会での活躍に期待して、多くの声援と激励が送られました。

なお、大会の開会式では、消防団員2名以上を従業員として10年以上雇用している消防団員活動支援協力事業所等6団体に対し、石川県知事から感謝状が贈呈されました。



石川県



石川県

☆富山県

7月25日(土) 富山県広域消防防災センター

ポンプ車操法の部

【優勝】小矢部市消防団 埴生分団

【次賞】砺波市消防団 南般若分団

【参賞】高岡市消防団 太田分団

小型ポンプ

【優勝】富山市消防団 上滝分団

【次賞】富山市消防団 細入南分団

【参賞】砺波市消防団 種田分団

第66回富山県下消防団消防操法大会は、富山県と富山県消防協会が共催し、各支部から予選を

勝ち抜いたポンプ車操法の部22チーム、小型ポンプ操法の部12チームの参加のもと、盛大に開催されました。

連日の厳しい暑さの中での訓練の成果を遺憾なく発揮すべく、総勢192名の精鋭が真剣に競い合いました。

約1,400人の来場者からも熱い声援が送られ、会場は大いに盛り上がり、消防団の活動への関心、重要性への理解を深める熱気あふれる大会となりました。

また、全国女性消防操法大会に出場する「小矢部市女性消防隊」が、日頃の訓練の成果を披露し、

会場からは全国大会での入賞を期待する大きな拍



富山県

手で激励を受けました。



富山県

☆愛知県

8月8日(土) 豊川市音羽運動公園

ポンプ車操法の部

【優勝】 知多市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 安城市消防団

真夏の太陽のもと、第60回愛知県消防操法大会が開催され、ポンプ車操法の部23団、小型ポンプ操法の部14団が、団員や家族など3,000人以上が見守る中、日頃の訓練の成果を競い合いました。

出場団員の鍛え上げられた迅速、確実な動作の一つひとつに大きな声援と拍手が送られました。



愛知県

なお、会場では全国女性消防操法大会に出場する大口町女性消防隊による軽可搬ポンプ操法も披露され、火点が落とされると拍手と歓声が沸き起こりました。

また、60回目の大会を記念して、消防団PRステージを設け、地元ダンスチームやチアリーダー、和太鼓、吹奏楽、あいち消防団PR大使OS☆Uがステージを盛り上げるなどのほか、消防団PRブースに地元女性防火クラブ、自衛隊、穂の国青年会議所、消防関係業者などがブースを展開、地元物産展も催されるなど、会場は終日、大盛況となりました。



愛知県

☆静岡県

9月13日(日) 静岡県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 静岡市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 焼津市消防団

(公財)静岡県消防協会が主催する第35回静岡県消防操法大会は、県下10支部から選抜された、ポンプ車操法、小型ポンプ操法各10チームが出場し、静岡市清水区の静岡県消防学校で開催されました。

大会当日は、小雨がぱらついたもののますますの天気で、この大会のために厳しい訓練に耐え抜

いてきた消防団員が、その成果を存分に発揮しようと全力で競技に取り組んでいました。

来賓、消防団員等大会関係者、一般見学者あわせて約3,000人の大勢の皆さんが見守るなか、出場選手たちが行うきびきびとした動作に盛大な声援をおくっていました。

また、第22回全国女性消防操法大会に静岡県代表として出場する三島市消防団女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の訓練展示も行いました。

小型ポンプ操法の部で優勝した焼津市消防団は、来年10月、長野市で開催される第25回全国消防操法大会への出場が決まり、静岡県代表としての活躍が期待されます。



静岡県



静岡県

☆岐阜県

8月2日(日) 海津市 海津グラウンド

ポンプ車の部

【優勝】 恵那市消防団

酷暑の中「消防感謝祭」第64回岐阜県消防操法大会が、関係者をはじめ多くの県民の皆さんの協力を得て、海津市の「海津グラウンド」において盛大に開催されました。この大会は、第50回大会から消防団員の日頃の活躍と消防団員を支える家族の方々に感謝の思いを込めて「消防感謝祭」と銘打って開催しています。来場した皆さんが楽



岐阜県

しんでいただけるようなアトラクションや第22回全国女性消防操法大会に出場される女性消防隊による操法披露により会場を更に熱く盛り上げて頂きました。

競技では、岐阜県下の各消防協会から選出された30隊の消防団による白熱した消防操法が繰り広げられ、日々の訓練の積み重ねを遺憾なく発揮し、節度があり、機敏な行動が披露されました。火点に向かって一直線に延長されたホースから確実な放水で的が倒れると、来場した皆さんから割れんばかりの大歓声と拍手が送られました。



岐阜県

☆大阪府

9月6日(日) 大阪府立消防学校

【総合優勝】 泉南地区支部

ポンプ車操法の部

【優勝】 泉佐野市消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】 阪南市消防団

大阪府消防協会(会長 秋田治夫)では、大阪府との共催により毎年、実施している大阪府消防操法訓練大会も第59回を迎えました。

当日は、開会前から続く大雨のなか、府内7地区から選抜されたポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部2部門にそれぞれ7消防団、合計14の消防団が出場し、操法中も雨が降り続くというあいにくの天気であったにも関わらず、日頃の厳しい訓練の成果を発揮して、その気合いで、雨雲を吹き飛ばすような爽やかで熱気あふれる大会になりました。

「ポンプ車操法の部」で優勝した泉佐野市消防団



大阪府

ならびに「小型ポンプ操法の部」で優勝の阪南市消防団とともに13大会ぶりの優勝となり、選手はもちろんのこと、応援に駆け付けた地元の消防団員たちもその喜びは一入でした。

また、大会では、第22回全国女性消防操法大会

に出場する東大阪市女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の披露も行われ、会場からは、全国大会での活躍を期待する大きな拍手が送られ、大阪府下の女性消防団員一同から全国大会での健闘を祈り、激励も行われました。

☆滋賀県

8月2日(日) 滋賀県消防学校屋外訓練場
ポンプ車の部

【優勝】日野町消防団

小型ポンプの部

【優勝】守山市消防団

平成27年度第50回滋賀県消防操法訓練大会は、ポンプ車操法の部に14隊、小型ポンプ操法の部に12隊が出場しました。

大会は、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化に寄与することを目的に、滋賀県と公益財団法人滋賀県消防協会(会長 植田和生)が主催したもので、当日は、最高気温が37.6℃を記録する猛暑のなかの大会となりましたが、50回の節目でもあり、応援の家族や消防関



滋賀県



大阪府

係者ら約2,000名が詰めかけ、真夏の太陽よりも熱い声援のもと、出場選手たちも気合い十分で、日頃の訓練成果を発揮する熱戦が繰り広げられました。

各支部から選出された消防団が、各応援団の熱い声援をバックに、日ごろ鍛えた消防操法訓練の成果を競い合い、その結果に一喜一憂、会場は終日、熱気に包まれた素晴らしい大会になりました。



滋賀県

☆鳥取県

7月5日(日) 鳥取県消防学校屋外訓練場
ポンプ車操法

【優勝】米子市消防団 夜見分団

小型ポンプ操法

【優勝】米子市消防団 福生東分団

第61回鳥取県消防ポンプ操法大会は、ポンプ車操法の部12隊、小型ポンプ操法の部10隊の出場で日頃の訓練成果を競い合って、熱のこもった大会となり、ポンプ車操法・小型ポンプ操法とも米子市消防団がダブル優勝しました。

また、第22回全国女性消防操法大会に出場する三朝町女性消防隊と第21回大会に出場した鳥取市女性消防隊が軽可搬ポンプ操法を披露し、来場者からの暖かい拍手と激励を受けました。

この大会では、一般住民にも来場してもらえるように事前に近隣の小学校や幼稚園にチラシを配布し、起震車や屈折はしご車の展示・体験、消太



鳥取県

パネルによる写真撮影コーナーの設置、さらに東日本大震災の写真パネルや県内消防団の活動写真パネル等の展示も行い、消防グッズ販売店にも出店していただき、大盛況でした。



鳥取県



鳥根県

☆鳥根県

8月9日(日)鳥根県立益田工業高等学校跡地
ポンプ車操法の部

【優勝】松江市消防団玉湯方面団

小型ポンプ操法の部

【優勝】奥出雲町消防団

第59回鳥根県消防操法大会には、ポンプ車の部に13隊、小型ポンプの部に19隊が出場し、約2,000名の観衆が見守る中、日頃の訓練の成果を十二分に発揮し、規律、技、速さを競い合いました。昼の休憩時には、鳥根県消防学校初任総合教育第55期学生による訓練披露と第22回全国女性消防操法大会に県代表として出場する安来市女性消防隊の操法披露を行いました。

なお、ポンプ車の部で優勝した松江市消防団玉湯方面団は、来年開催される第25回全国消防操



鳥根県

法大会ポンプ車の部への出場権を獲得しました。

また、今大会では、昨年、総務省消防庁から益田市消防団に貸与された『救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車』及び防災用品等の展示を行いました。

☆岡山県

5月17日(日)岡山県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】和気町消防団第4分団

小型ポンプ操法の部

【優勝】岡山市消防団都六区分団

第62回岡山県消防操法訓練大会は、備前、備中、美作の3地区からの11チームずつの出場に加えて、前回優勝した市町村のシード枠2チームを合わせた35チームが出場しました。

ポンプ車操法の部14チーム、小型ポンプ操法の部21チームに分かれ、所要時間・操法の的確性などを競いました。大会の司会は和気町消防団 谷口祥美さんと高原里美さんが行い、進行に際しては岡山市消防団 守山敏信分団長以下19名のラッパ隊の皆さんが会場を盛り上げてくださいました。

大会結果は、ポンプ車操法の部で優勝を果たしたのは和気町第4分団で、11連覇となりました。

また、小型ポンプ操法の部は岡山市消防団都六区分団で4連覇しました。

なお、平成28年度開催予定である第25回全国消防操法大会ポンプ操法の部へ和気町消防団第4分団が出場する権利を獲得しました。



岡山県



岡山県

☆広島県

9月5日(土) 広島県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】 福山市消防団

本県では広島県と公益財団法人広島県消防協会との共催により、隔年でポンプ車の部と、小型ポンプの部を交互に実施しています。

今年度は第27回となる消防操法大会ポンプ車の部が、9月5日残暑厳しい中、消防関係者や応援の家族等を含め約1,500名に見守られ、盛大に



広島県

開催されました。

県内の市町から厳しい予選を勝ち抜いた14チームが出場し、地域の代表としての誇りを胸に、日ごろの訓練の成果をいかに発揮し、所期の目的である消防操法技術の向上と、士気の高揚を図りました。

大会結果は、福山市消防団が白熱の大会を制し前人未到の7連覇を達成し、盛会のうちに無事、終了しました。



広島県

☆山口県

9月19日(土) 山口県消防学校

基本操法ポンプ車の部

【優勝】 下関市消防団彦島分団第1部

基本操法小型ポンプの部

【優勝】 柳井市消防団

応急操法ポンプ車の部

【優勝】 岩国市消防団岩国南方隊岩国分団

応急操法小型ポンプの部

【優勝】 下松市米川分団

女性軽可搬ポンプ基本操法の部

【優勝】 和木町消防団

女性水バケツ消火競技

【優勝】 下関市長府地区婦人防火クラブ

山口県、山口県消防協会及び山口県消防クラブ

連合会の共催のもとで開催した本大会は、今年で62回目を迎え、第33回女性消防操法大会と併せ、参加者1,300名のもと盛大に行われました。

今年は17市町から、基本ポンプ車操法9隊、基本操法小型ポンプ14隊、応急操法ポンプ車6隊、応急操法小型ポンプ12隊及び女性軽可搬ポンプ基本操法3隊、女性水バケツ消火競技4隊の6部門計48隊が出場しました。

女性軽可搬ポンプ操法に新たに萩市消防団から参加があり、また他に新たに取り組みをはじめている女性隊もあり今後の活躍が期待されます。

なお、基本操法ポンプ車の部で優勝した下関市消防団彦島分団第1部が、来年の全国大会へ出場することになります。



山口県



山口県

☆香川県

9月13日(日)香川県消防学校放水訓練場

ポンプ車の部

【優勝】丸亀市消防団第12分団

小型ポンプの部

【優勝】三豊市消防団財田方面隊

今回で43回目となる香川県消防操法大会では、県内10地区の代表消防団が参加し、日頃の厳しい訓練の成果を十分に発揮し、消防操法技術の向上と消防団員の士気の高揚が大いに図られました。

平成17年4月に開校した、防災センターを併設した消防学校を会場としており、一般見学者も多く、1,000人を超える方が集まり、熱気のある大会となりました。

また、全国女性消防操法大会に出場する「土庄町女性消防隊」が、軽可搬ポンプ操法を披露し、会場から大きな拍手と声援で激励を受けました。



香川県

☆高知県

10月11日(日)高知県消防学校

ポンプ車操法の部

【優勝】仁淀川町消防団

小型ポンプ操法の部

【優勝】仁淀川町消防団

第31回高知県消防操法大会は、平成27年10月11日(日)高知県と(公財)高知県消防協会の主催により高知県消防学校で開催されました。

県下17地区から選出された自動車ポンプの部、小型ポンプの部、それぞれ18チーム198名と、来賓、消防関係者など800名余りが参加し熱気に満ちた大会となりました。

各チームともに、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、県民、団員、家族などの熱い応援を受け、見事な操法を披露し、ポンプ車操法の部及び小型ポンプ操法の部ともに、仁淀川町消防団が優勝を飾りました。

今回、小型ポンプ操法の部で見事優勝した仁淀川町消防団は来年度、長野県で開催される全国消防操法大会の切符を手にし、本県代表として高いレベルの操法を披露してくれるものと期待しております。

また、大会の休憩時間には今般の第22回全国女性消防操法大会に出場する須崎市女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の披露も行われ、参加者から大きな拍手と声援が送られるなど、さらに盛り上がった大会となりました。



高知県



高知県

☆福岡県

9月6日(日)福岡県消防学校

女性消防操法大会

【優勝】福岡市早良消防団

県大会として2回目の開催となる女性消防操法大会は、未明から明け方にかけて降り続いた雨も選手入場の1時間前には降り止むという天運にも恵まれ、大勢の応援団の声援を受ける中で競技が行われました。

出場9隊の各隊員とも訓練の成果を最大限発揮すべく、緊張した中にも澁刺とした動きで大会に臨んでいました。

出場する消防団関係者はもとより、審査を担当した消防職員や県消防学校の教官の皆さんの御協

力により、団員の士気高揚と技術の向上を図り、併せて消防団活動への理解を図るとい大会の目的を達成し、終了しました。



福岡県



福岡県



熊本県

☆熊本県

平成27年8月23日(日)八代市球磨川河川緑地・駐車場
女性消防操法大会

【優勝】八代市消防団 女性消防隊

【準優勝】人吉市女性消防隊

【第3位】美里町消防団 女性消防隊

8月23日(日)、八代市球磨川河川緑地・駐車場において、熊本県、熊本県消防協会並びに八代市、八代市消防団、八代広域行政事務組合消防本部の共催により『第4回熊本県女性消防操法大会』を開催しました。

今大会には、県下12の女性消防隊が出場し、消防団関係者や応援団など約1,200人が駆けつけ、地元の熱い期待と盛大な声援を受けながら、日頃の厳しい訓練の成果を遺憾なく発揮し、熱気あふれる競技を繰り広げました。



熊本県

会場内には各消防団の横断幕や色とりどりの幟旗が掲げられ、大変な盛りあがりを見せました。

なお、今回、優勝した八代市消防団女性消防隊が全国大会に出場しました。

☆沖縄県

10月23日(金)沖縄県消防学校 屋外訓練場
ポンプ車操法の部

【優勝】ニライ消防団

小型ポンプ操法の部(男子)

【優勝】沖縄市消防団

小型ポンプ操法の部(女子)

【優勝】宜野湾市消防団

第24回沖縄県消防操法大会は、平成27年10月23日(金)、県内7地区から選抜された選手95名が参加して沖縄県消防学校屋外訓練場に於いて開催されました。

大会当日は、台風接近の影響で朝から小雨が降り続

け、大会開催時には大雨となり、各選手団、役員等は大雨に濡れながらの大会でした。

各消防団にあっては、日頃の訓練の成果をいかんなく発揮し、大会関係者、見学者から盛大な声援を受け、熱戦が展開されました。大雨の中での大会でしたので、競技中のスリップなどによる転倒等の心配がありました。1人のけが人も無く大会を盛会裏に終えました。

東日本大震災をはじめ、大雨による広島県土砂災害等多発する自然災害のなか、消防団員の活動は、ますます重要性を増しており、このような時期に、消防団活動の一環である消防操法大会が開催されたことは、県民への消防団の存在感を広くアピールできたものと考えます。



沖縄県



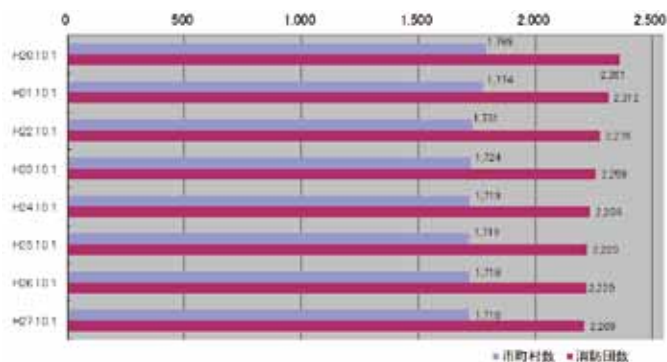
沖縄県

消防団の現況

(公財)日本消防協会

1 消防団数の動向

消防団の数は、市町村合併に伴う消防団の統合などで減少が続いていますが、減少幅は年々縮小傾向にあります。平成19年は2,457団あった消防団が、平成20年には2,361団と100団近く減少しました。それ以降、平成21年は2,312団(前年比49団減少)、平成22年は2,276団(同36団減少)、平成23年は2,259団(前年比17団減少)、平成24年は2,234団(前年比25団減少)と減少してきましたが、平成25年は前年比11団減少、平成26年は前年比3団減少、平成27年は前年比11団減少で2,209団となり、市町村合併に伴う消防団の統合は落ち着いてきていると推測されます。【表1】(データは各年10月1日現在。以下同じ)



【表1】市町村数及び消防団数の推移(日本消防協会調べ)

2 消防団員数の動向

消防団員数は、社会環境の変化(少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等)から減少が続いています。

平成19年から平成22年までの状況を見ると、平成19年は895,294人、平成20年は891,293人(前年より4,001人減少)、平成21年は888,662人(同2,631人減少)、平成22年は886,457人(同2,205人減少)と、減少数は徐々に低下する傾向がみられました。これは、消防団数の減少が低下してきたこと、また、積極的な入団促進の取り組みが成果を出してきたことなどが背景として考えられます。

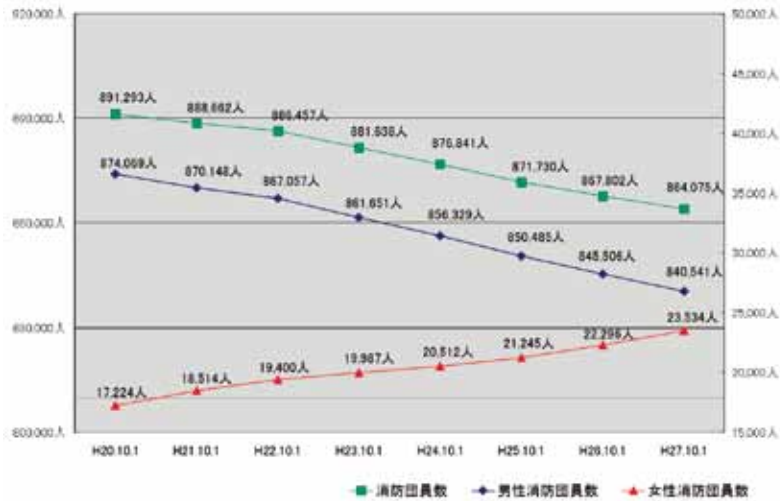
しかし、平成23年は東日本大震災の影響により殉職や生活基盤を失うなどの環境の変化によって東北地方の減少数が増加したことや、市町村合併に伴う消防団の再編による減少などで前年比4,819人の減少で881,638人となりました。

その後、平成24年は876,841人(前年比4,797人減少)、平成25年は871,730人(同5,111人減少)と減少数が再び増加していましたが、平成26年は867,802人(同3,928人減少)、平成27年は864,075人(同3,727人減少)と減少数が低下しています。【表2、表3】

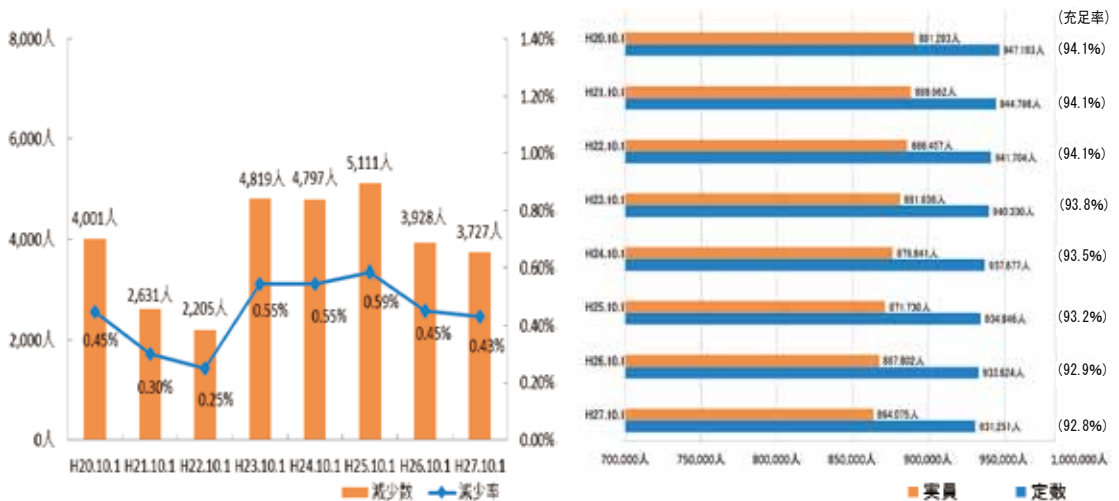
団員数は全国的に減少傾向にある中で、今回の調査では10県(前年14県)が増加しており、その主な要因としては、団員確保のための粘り強い努力や女性消防団員及び機能別消防団

員の採用などがあげられます。

定員に対する充足率は、平成27年は92.8%であり、前年の92.9%と比較し0.1ポイント低下しました。【表4】



【表2】消防団員数の推移（日本消防協会調べ）



【表3】消防団員数減少数及び減少率の推移（日本消防協会調べ）

【表4】消防団員数充足率の推移（日本消防協会調べ）

3 女性消防団員

平成27年は23,534人であり、引き続き増加傾向にあります。増加数については平成21年(前年比1,290人増)をピークに低下傾向にありましたが、平成27年は前年比1,238人の増加となっており、平成21年に次ぐ高い増加数となりました。

また、女性消防団員を採用している消防団は、平成27年は1,445団(全消防団の65.4%)で、前年より61団増えています。

女性消防団員は、地域の高齢者世帯への防火訪問や応急手当の講習、防火啓発活動、災害時における後方支援活動など幅広い分野に活動が広がってきています。

平成28年春季全国火災予防運動

総務省消防庁予防課

消防庁では、「無防備な心に火災がかくれんぼ」を平成27年度全国統一防火標語とし、平成28年3月1日から7日までの7日間にわたり、「春季全国火災予防運動」を実施します。

平成26年中に全国で発生した建物火災は2万3,641件ですが、月別の発生件数をみますと、1月が最も多く(2,439件)、次いで4月(2,367件)、3月(2,353件)となっており、冬場だけではなく、春先にも火災が多く発生する傾向にあります。

火災による被害を減らすためには、一人ひとりが普段の生活の中で、防火に対する意識を高め、火災予防の対策を行うことが何よりも大切です。

火災予防運動の期間中は、全国各地で消防訓練や、防火に関する講習のほか、防火防災に関する展示、体験型イベントなど各種行事が行われますので、是非この機会に防火の知識や技能の修得に努めるなど、防火意識を高めましょう。

建物火災の月別発生件数（平成26年中）



「平成28年春季全国火災予防運動」ポスター

また、この火災予防運動にあわせて、山火事予防に対する意識を高め、森林の保全と地域の安全に資することを目的とした「全国山火事予防運動」を林野庁と共同で実施します。

平成26年中における月別の林野火災の発生件数をみますと、3～5月の間の発生件数が全体の過半数を占めています。主な出火原因は、たき火、火入れ、放火となっており、これは、春を迎えての火入れや入山者が増加するためと考えられます。林野周辺にお住みの方や入山する方は、この時期に、山火事への防火意識を高め、山火事予防にご協力いただきますようお願いいたします。

林野火災の月別発生件数（平成26年中）



林野火災の主な出火原因（平成26年中）

たき火	火入れ	放火 [※]	たばこ	火遊び	その他
443	249	170	96	35	501

(注：放火の疑いを含む)

消防白書（平成27年版）より



「全国山火事予防運動」ポスター：資料提供 林野庁

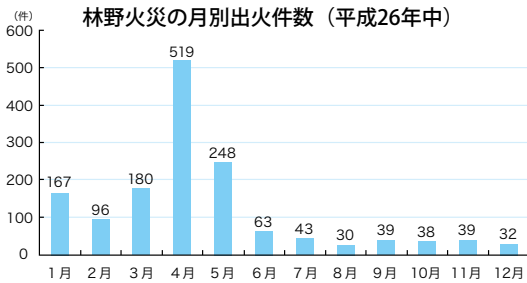
問い合わせ先
消防庁予防課予防係 齋藤、森野
TEL: 03-5253-7523

林野火災を防ごう！ ～全国山火事予防運動～

総務省消防庁特殊災害室

1 林野火災の発生状況及び注意点

国内における林野火災は、例年春先に多く発生しています。平成26年中は、下図に示すとおり3月から5月までの間に947件の火災が集中して発生しました（年間出火件数の約63%）。春先に林野火災が多いのは、枯葉が地上に積もり、下草も枯れているうえ、降雨量が少なく、空気が乾燥し、季節風が吹くなど林野火災が発生しやすい気象条件となっており、さらに、この時期になると火入れが行われ、また、山菜採りや森林レクリエーションなどにより入山者が増えることによるものと考えられます。



平成26年中の林野火災発生状況をみると、出火件数は1,494件（前年2,020件）、焼損面積は1,062ha（同971ha）、損害額は13億6,902万円（同2億3,262万円）、死者は17人（同20人）となっています。

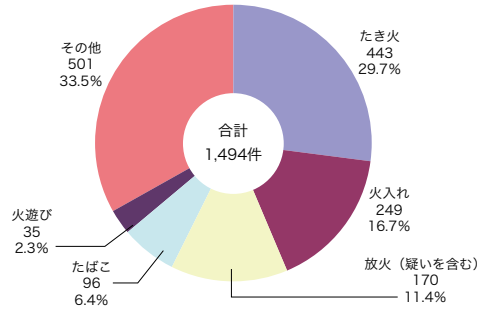
出火原因としては、「たき火」によるものが443件で全体の29.7%を占め最も多く、次いで「火入れ」、「放火（放火の疑いを含む）」、「たばこ」の順となっており、「火遊び」を含めた人為的な要因による火災の割合は、全体の約66%を占めています。

林野火災を未然に防ぐため、次のような点に注意するよう心がけましょう。

【林野火災防止のための注意点】

- 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- 喫煙は、指定された場所で行い、吸いながらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- バーベキューなど火を使用する場合には、指定された場所で行い、そこを離れる時には、完全に火を消すこと
- 各自のゴミは、指定された場所に捨てるか持ち帰ること
- 火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに消火用の水等を必ず用意すること
- 強風注意報や乾燥注意報などが発表されている場合は、火気の使用は差し控えること

林野火災の出火原因別件数（平成26年中）



2 全国山火事予防運動（3月1日～3月7日）

消防庁では、広く国民に山火事予防意識の啓発を図るとともに予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資することを目的として、林野庁と共同で春季全国火災予防運動期間中の3月1日から7日までを「全国山火事予防運動」の実施期間と定め、次のような活動を通じて山火事予防を呼びかけています。

【全国山火事予防運動期間中における主な活動】

- 全国の消防関係機関において林野火災の予防対策と警戒を強化
- ハイカー等の入山者、地域住民、小中学校の児童・生徒等を対象とした啓発活動
- 駅、市町村の庁舎、学校、登山口等への警報旗やポスターの掲示
- 報道機関を通じた山火事予防思想の普及啓発
- 消防訓練及び防火研修会の開催、女性（婦人）防火クラブの広報活動など

平成28年 山火事予防の標語
「誓います 森の安全 火の始末」

3 おわりに

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であり、一度焼失してしまうと、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。

林野火災の大部分は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。貴重な人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取扱いには十分気をつけましょう。

問い合わせ先
消防庁特殊災害室 富塚
TEL: 03-5253-7528

Let's try “HAPPY SBD” ! 豊田市消防団 1 日体験入団を開催

愛知県豊田市消防団

1 大学との共働事業

平成27年11月22日（日）豊田市消防本部において「Let's try “HAPPY SBD” !～豊田市消防団 1 日体験入団～」を開催しました。

地域防災の要である消防団について、大学生・専門学校生が消防団への関心と知識を深め入団を考えるきっかけづくりとなることを目的として、市内に在住又は通学する大学生・専門学校生20人（男子15人、女子5人）が参加しました。

2 開催までの経緯

中京大学総合政策学部の学生が豊田市の2つの提案事業（「学生発⇒まちづくり提案事業」「市民発！まちづくりシン展事業」）に応募し、学生の消防団体験についての事業が採択され、総合政策学部桑原プロジェクト研究の学生で構成された豊田市SBD実行委員会（SBDとは「消防団」のローマ字表記の頭文字をとったもの。）と消防団が主体となり消防本部総務課の協力を得て開催に至りました。

3 内容

実行委員の学生達は、体験会を企画するにあたり市消防操法大会や詰所格納庫の見学、カラーガード隊（ひまわりフェアリーズ）の練習などを実際に体験し、消防団活動についての知識と理解を深めました。その経験をもとに体験内容の検討を繰り返し、参加者が楽しく学べる9種類のプログラムを用意しました。



募集チラシ

消防団についての座学	カラーガード隊演技見学	規律訓練
消防団施設の見学	ランチミーティング	放水訓練
救出救護訓練	訓練を活かしたゲーム	グループディスカッション



規律訓練



救出救護訓練

4 学生目線で企画した体験プログラム

《カラーガード隊の演技見学》

広報指導部所属の女性消防団員で構成されるカラーガード隊の活動について知ってもらうため、最初に華やかな演技を見学した後、男女問わず参加者全員がフラッグを持って指導を受け、最後は曲に合わせて全員で演技を行いました。

《グループディスカッション》

実行委員の学生が司会進行役となり、事前に設定された消防団に関するテーマについて団員と参加者が自由に意見交換を行いました。明るく打ち解けた雰囲気の中で、参加者と団員がコミュニケーションを取る良い機会となりました。

《訓練を活かしたゲーム》

5人1組のチームに分かれて競技を行い、法被とハチマキ姿の参加者達は、応急担架による搬送やホース延長、腕用ポンプによる放水など、訓練で学んだこと活かし、楽しく盛り上がりながら参加者相互のキズナを深めることができました。

5 体験会を通じて得られた効果

(1) 楽しく学ぶ

実践型のプログラムを「楽しく学ぶ」ことで、訓練など固く厳しいイメージを持つ消防団の活動を、魅力的で気軽に参加できる地域貢献活動の一つとして理解し、受け入れることができた。

(2) 知る

消防団について「知る」機会を作ることで、活動の内容を正しく理解し、地域防災における必要性や重要性を参加者自身が考えることができた。

6 活動の記録

企画から体験会当日までの実行委員の活動記録は、市ホームページの専用ページにブログ形式で掲載され、消防団活動の紹介や体験談などを実行委員が更新することで、参加者や体験会に興味を持った学生に対して消防団を知ってもらう広報手段として役立ちました。

※専用ページはこちらをご覧ください。<http://www.toyota-10th.jp/cp-bin/blog/sl16/>



カラーガード隊の演技見学



グループディスカッション



訓練を活かしたゲーム



活動の記録（HPより抜粋）



参加者と記念撮影

7 おわりに

多くの団員が訓練の指導やサポート役として体験会に参加したことで、参加者の学生は消防団をより身近に感じ、活動について理解を深める良いきっかけとなりました。

今後も大学生と一緒にアイデアを出しながら、楽しく学べる消防団体験会を開催し、将来の地域防災の担い手である大学生・専門学校生へ働き掛け、入団促進に繋げていきたいと考えています。

うちの

名物団員



岩手県

花巻市消防団 部長

神林 守



国の重要無形文化財とユネスコ無形遺産登録されている「早池峰岳神楽」を継承している神林守部長を紹介します。

早池峰山の麓で修験山伏の影響を受けた祈祷の舞が神楽になったものといわれ、500年以上の伝統をもちます。

神楽を継承して28年、国内外問わず数々の公演へ招聘されています。

2016年は地元で全国神楽大会が開催されます。是非、ご鑑賞ください。



東京都

志村消防団 分団長

安井 一郎



東京都板橋区の志村消防団から、安井一郎分団長を紹介します。

普段は板橋区議会議員として多忙な毎日を送っているかたわら、休日には積極的に訓練や消防団の普及活動に励んでいます。特殊技能班の資格を持ち、自らパーツを集めて災害活動用に重機を自作しました。実際の災害現場でも大いに活躍しており、平成27年4月に発生した作業所の火災では、その活動により消防総監賞を受賞しました。





山下 丈太

宇治茶の主産地である和東町から入団2年目の山下丈太さんを紹介いたします。

6歳の頃に和東町へ移住、以来和東町で育ち大学卒業後、一旦は慣れ親しんだ故郷を離れられました。30歳の時に故郷へUターンされ、町内で会社を立ち上げ、地域振興を主な事業として活躍をされています。

宇治茶の一大産地でありながら、人口減少や高齢化など、課題はたくさんありますが、故郷がいつまでも誇れる故郷である事を目指して頑張っておられます。

地域に密着して町を守る消防団の活動だけでなく、町の一大イベント「茶源郷まつり」への運営に携わるなど、色々な面で貢献されています。

今後も消防団活動だけでなく、和東町の発展のためのご活躍を期待しています。



板野町消防団 副団長



尾田 達哉

板野町消防団の尾田達哉副団長は、生徒43名を抱えるスポーツチャンバラ(通称スポチャン)の道場「禅心館」の本部師範であるとともに、徳島県スポーツチャンバラ協会会長も務める闘う副団長です。

スポチャンは、チャンバラごっこと護身道から発祥した、スポーツです。エアソフト剣を使用し、誰もが安全に楽しめ、世界中に何十万人もの愛好家が存在します。

指導した生徒は、世界大会で活躍するなど、尾田副団長の指導者としての手腕と誠実な人柄は我が消防団においても不可欠で、団員からも厚い信頼を集めています。

高森町消防団 第五分団 分団長



檜木野 秀徳

高森町からは、檜木野秀徳分団長を紹介します。

普段は施設で勤務する傍ら、ライフワークとして町の観光振興や体育振興等に情熱を傾けています。

そもそも学生時代から陸上競技に親しみ実業団にも所属した経歴を持つ檜木野さんは、世界の阿蘇をこよなく愛し、特に自身が住む高森町への愛着は特別なものがあります。高森町への集客のためにありとあらゆる仕掛けを行っており、その第一弾として「あそたかもりウォーキング大会」を企画し、3回目を迎えた昨年は1,000人を数えるほどのイベントへと成長させました。そのイベントにおいて、自らも以前から取り組んでいた「肥後にわか」を演じ、出場者の笑いを大いに誘っていました。

こうした檜木野さんの取り組みは周囲からも絶賛され、町においても消防団においても次代を担う貴重な存在として注目されています。



熊本市消防団 団長

山口 純一



高森町消防団 団長

渡邊 博実



熊本市は、昨年に続き今年も女性消防団員が増加したということで総務大臣表彰をいただきました。女性消防団員数日本一（平成27年4月1日調査時点で202名）となったことで器から中身へ、次なるステップが待っているように思います。どのようにまとめていくのか、どう個々のレベルを上げ全体の底上げを図っていくのか、そしてどんな役割を担ってもらうのか、今からが責任とその使命が問われるものと考えます。

女性ならではの視点で、女性だから出来る活動を掘り起し、地域に根付いたきめ細かな支援活動へと展開させていきたいと思っています。

女性消防団員が輝き活動することこそが、消防団全体の浮場の鍵となるかもしれない。このことをしっかりと受け止め、日本一に相応しい指針と活動内容を構築し全国へ発信したいと思います。



第6回熊本県女性消防団活性化セミナー

高森町は、九州中央部、熊本県の最東端に位置し、世界一のカルデラで有名な阿蘇山のカルデラの中に存在します。高森町消防団の分団構成は13分団で、その他に機動部、女性部を配置しています。地域住民の安心安全の確保に日夜頑張っています。

平成26年度に行われたポンプ操法大会では、郡予選を突破し、県大会において3位入賞という輝かしい成績を残しました。出場分団が担当する地域は、大分県境の高齢化率43%の過疎地ですが、地域を上げての県大会応援や祝賀会の開催等、地元消防団の快挙に地域の老若男女が酔いしれた大きなイベントとなりました。

町消防団の課題は、このような過疎地を含め、町全体における団員の減少に歯止めをかけることです。その解消策として、平成26年度に機能別団員制度を導入したところ多くの元団員の協力により、消防団員が大幅に増加しました。昨年（平成27年）7月には消防団員の増員が顕著であった全国22消防団の1つとして総務大臣から感謝状をいただくこともできました。



高森町消防団

平成27年度 全国統一防火標語

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

3月の日本消防協会関係行事

3月1日(火)午後	都道府県消防協会事務局長会議
3月7日(月)午後	消防団員確保対策等委員会 日本消防協会正副会長会議 全日本消防人共済会理事会
3月8日(火)午前	日本消防協会定時理事会 日本消防協会評議員会 全日本消防人共済会総代会
午後	第68回消防協会定例表彰式
3月9日(水)午後	消防育英会評議員会

編集後記

2016年も気がつけば早やひと月が経ち、暦のうえではもう春ですが、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2月3日は立春前の節分。この日は、鰯の頭を柁の小枝に刺して戸口にさし、炒り豆をまいて悪疫退散、招福の節分の行事が行われます。京都の八坂神社や吉田神社の節分祭が有名ですが、ご近所の神社や皆様のご家庭でも「福は内、鬼は外」などと寒さに負けない子供たちの元気な掛け声が聞かれたことでしょうか。この時季は、季節が巡ってくることをとてもありがたく感じます。季節の行事に込められた先人の祈りをかみ締め、春からの実りの一年を願います。

3月1日から7日まで「春季全国火災予防運動」が実施され、全国各地で様々な訓練や啓発活動が行われます。変わり目の季節、皆さまには体調管理に十分ご留意され、それぞれの地域や職場での活躍をお祈りします。

(M.M)

お詫びと訂正

日本消防2015年12月号掲載、第21回全国女性消防団員活性化佐賀大会紹介ページ(P11)の中で、司会山口瑞枝さんの所属消防団に誤りがございましたので、関係各位の方々に対しまして深くお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

正・・・鹿島市消防団

誤・・・鹿児島消防団

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へ
お問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,448円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。 soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十九巻第二号
平成二十八年二月五日印刷
平成二十八年二月十日発行

編集人 武居 丈二
発行所 (公財)日本消防協会
東京都港区虎ノ門二丁目十九番十六
電話 〇三(353)一四八二(代)

印刷所
千葉市稲毛区山王町一〇二一五
株式会社白樺写真工芸
電話 〇四三(423)一一〇一(代)

消防団員・消防職員の皆様の火災共済

消防団員
消防職員
ならどなたでも
加入できます

まさかの時お役に立ちます。

風水雪害等共済金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損) 火災共済金375万円のお支払い **1500倍補償**

B型火災共済 (消防団 消防本部) 毎に皆で加入

キャンペーン期間中B型火災共済に加入しますと、テントを消防団等に配布します。

(加入者100人以上または、掛金10万円以上が対象)

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部(消防協会)へ。



(三方の横幕も付属します。)

お支払
対象

●火災共済金

火災・落雷・爆発・破裂

●風水雪害等共済金

風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-3503-1439
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率(年1.25%) + 配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万円(ゆうちょ
銀行は五千円)から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金(6種類)又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金(脱退一時金)
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

(お問い合わせ先) 公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00~17:00